

## 入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成26年7月29日

分任支出負担行為担当官

沖縄総合事務局南部国道事務所長 金城 博

### 1. 工事概要

- (1) 工事名 平成26年度 南部国道事務所庁舎屋上防水工事（電子入札対象案件）
- (2) 工事場所 南部国道事務所庁舎
- (3) 工事内容 本工事は、次に掲げる建物の防水改修工事を施工するものである。

1) 南部国道事務所庁舎 備蓄倉庫

(a) 建物用途 庁舎

構造・階数・建物規模・工事概要

倉庫 S造 地上2階建 屋上防水改修：塗膜防水 593m<sup>2</sup>

なお、行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関休日以外は、行政事務を行うなかで本工事を施工する。

- (4) 工期 契約締結の翌日から平成26年12月25日まで。
- (5) 本工事は、「技術資料等」を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事である。
- (6) 本工事は、地元企業を1次下請（県内元請企業を含む）として活用することを評価する地元1次下請活用比率評価の試行工事である。
- (7) 本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- (8) 本工事は、資料の提出、入札を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムにより難しいものは、発注者の承諾を得た場合に限り紙入札方式に変えることができる。
- (9) 本工事は原則として、当該入札の執行において入札執行回数は2回を限度とし、それまでに落札者がいないときは、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）（以下「予決令」という。）第99条の2の規定に基づく随意契約には移行しない。
- (10) 本工事は、入札時に工事費内訳書の提出を義務付ける試行工事である。
- (11) 本工事は、開発建設部における過去2年度間の低入札工事の工事成績が一定の点数未満の場合は総合評価の得点を減点する試行工事である。
- (12) 本工事は、適切で確実な施工を行う能力を有しているかを確認する施工能力評価型Ⅱ型の試行工事である。

### 2. 競争参加資格

次に掲げる条件を全て満たしている有資格業者であること。

- (1) 予決令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 沖縄総合事務局における平成25・26年度一般競争参加資格のうち「建築工事D等級」の認定を受けていること。（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、沖縄総合事務局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。）
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 過去15年度間（平成11年度～平成25年度）に（ただし、平成26年度に完成・引渡し完了した工事を含む。）、次に掲げる工事を元請けとして完成・引渡し完了した次の(ア)要件を満たす同種工事の施工実績を有すること（施工実績にあげた工事の発注機関は、公共・民間を問わない。共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。ただし、経常建設共同企業体（以下「経常JV」という。）にあっては、構成員の1社以上が次に掲げる施工実績を有すること。

当該実績が沖縄総合事務局開発建設部（港湾空港関係を除く）及び国土交通省（港湾空港関係を除く）が発注した工事のうち次に示す実績にあっては、工事成績評定が入札説明書に示す点数未満のものを除く。

**(ア)屋上における防水工事の施工実績。**

※施工実績が確認できる資料(CORINS資料又は、特記仕様書・数量総括表・図面・契約書等)を添付すること。

- (5) 次に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を当該工事に配置できること。また、配置予定技術者が、現在他の工事に従事している場合、契約締結時に当該工事に配置できること。
  - 1) 配置予定技術者は次に示す①～④のいずれかの資格を保有するものであること。
    - ① 1級建築施工管理技士又は国土交通大臣若しくは建設大臣がこれと同等以上の能力を有すると認定した者。
    - ② 2級建築施工管理技士（建築）の資格を有する者。
    - ③ 1級建築士又は2級建築士の資格を有する者。
    - ④ 建設業法第7条第2号イ、ロで定める者。（イについては建築学又は都市工学に関する学科を修めたもの）
  - 2) 過去15年度間（平成11年度～平成25年度）に（ただし、平成26年度に完成・引渡し完了した工事を含む。）、上記(4)に掲げる要件の施工経験を有する者であること（施工経験にあげた工事の発注機関は、公共・民間を問わない。共同企業体の構成員としての経験は、出資比率が20%以上のものに限る。）。ただし、経常JVにあっては、構成員のうち1社の配置予定技術者が施工経験を有すること。

当該工事の経験が沖縄総合事務局開発建設部（港湾空港関係を除く。）及び国土交通省（港湾空港関係を除く。）が発注した工事のうち入札説明書に示すものに係る工事の経験である場合にあっては、工事成績評定が入札説明書に示す点数未満のものを除く。

- 3) 配置予定監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
- (6) 沖縄総合事務局開発建設部が発注した工事（港湾空港関係を除く。）で当該工種「建築工事」における過去2年度の工事成績評定点の平均点が2年連続で60点未満でないこと。
- (7) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、沖縄総合事務局長から「沖縄総合事務局の工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（昭和60年8月6日付け総会計第642号）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者、又は当該受託者（出向元及び派遣元含む。）と資本若しくは人事面（出向及び派遣含む。）において関連がある建設業者でないこと（入札説明書参照。）。
- (9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。（資本関係又は人的関係がある者の全てが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書参照。）。
- (10) 沖縄県内に建設業法に基づく本店・支店又は営業所が存在すること。（經常JVの場合は構成員の代表者とする）
- (11) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずる者として、沖縄総合事務局発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (12) 競争参加資格確認のため、添付を義務付けた資料の添付がない場合、あるいは記載内容の確認ができない場合は、書類不備により、参加資格の確認ができないものとして不合格とする。

### 3. 総合評価に関する事項

#### (1) 入札の評価に関する基準

総合評価に関する評価項目は、次のとおりとするが詳細については、入札説明書による。

- ・企業の能力等
- ・配置予定技術者の能力等

#### (2) 総合評価の方法

##### ① 標準点

入札説明書等に記載された要求要件を実現できると認められた場合には標準点として100点を与える。

##### ② 加算点

技術資料の内容に応じて得点を与え、加算点を与える。なお、加算点の最高点は40点とする。

##### ③ 総合評価

価格及び技術資料等に係る総合評価は、予定価格の制限の範囲内の入札参加者について、上記①及び②により得られる標準点、加算点の合計を、当該入札者の入札

価格で除して得た数値（以下「評価値」という。）をもって行う。

(3) 落札者の決定方法

落札者の決定は、次に掲げる①から③の要件に該当する者のうち、上記(2)によって算出された評価値の最も高い者を落札者とする。

なお、評価値の最も高い者が2者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決定する。

① 入札価格が予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であること。

② 評価値が標準点を予定価格で除した数値に対して下回らないこと。

③ 提出した技術資料等及び入札価格に基づき、本工事を確実に実現できること。

(4) 評価内容の担保

技術資料等に提示された地元1次下請活用比率表及び登録基幹技能者の活用期間に記載された内容を遵守することについては、契約書に記載するものとする。受注者の責により評価した内容が満足できない場合は、工事成績評定を減じる措置を行う。

(5) その他の詳細については入札説明書による。

4. 入札手続等

(1) 担当部局

〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-8-14

沖縄総合事務局 南部国道事務所 経理課 契約係

電話 098-861-2337

(2) 入札説明書等の交付期間、場所及び方法

① 交付期間：平成26年7月29日（火）から平成26年9月5日（金）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日9時00分から17時00分まで。（最終日は入札書受付締切予定時刻まで。）

② 場所及び方法：入札説明書等を電子入札システムにより交付する。ただし、やむを得ない事由により、書面による交付を希望する場合は、上記(1)担当部局にて交付するので、あらかじめ連絡すること。

なお、希望者には、郵送等による交付も行うので申し出ること、この場合において、送料は希望者の負担とする。

(3) 申請書及び技術資料等の提出期間、場所及び方法

① 提出期間：平成26年7月30日（水）から平成26年8月11日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日9時00分から17時00分まで。

② 場所及び方法：電子入札システムにより提出を行うこと。

なお、申請書及び技術資料等が、3MBを超える場合の提出方法については、入札説明書による。ただし、発注者の承諾を得た場合は、前述の期日及び時間までに上記4(1)に持参又は郵送（書留郵便に限る。提出期限内必着。）により提出すること。

(4) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

入札書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は紙により持参すること。

- ① 日時：入札の締め切りは、平成26年9月5日（金）12時00分。  
開札は、**平成26年9月10日（水）14時00分**。
- ② 場所：紙による持参の場合は、上記(1)に持参又は郵送すること。開札は、沖縄総合事務局南部国道事務所 入札室にて行う。

## 5. その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

- (2) 入札保証金及び契約保証金

- ① 入札保証金 免除。

- ② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行那覇支店）。ただし、利付国債の提供（取扱官庁 沖縄総合事務局開発建設部）又は金融機関若しくは保証事業会社の保証（取扱官庁 沖縄総合事務局開発建設部）をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

- (3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者の入札、申請書又は技術資料等に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

- (4) 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で、上記3に定める方法に従い、評価値の最も高い者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で、上記3に定める方法によって算出された評価値をもって入札した他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とする可能性がある。

なお、落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条に基づく調査基準価格を下回る場合は、予決令第86条の調査を行うものとする。（入札説明書参照。）。

- (5) 配置予定技術者の確認

落札者決定後、専任の配置予定技術者の配置が義務付けられている工事において、CORINS等により配置予定技術者の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、申請書の差し替えは認められない。

- (6) 本工事に経常JVとして申請書を提出した場合、その構成員は、単体有資格業者として申請書を提出することはできない。

- (7) 手続における交渉の有無

無。

- (8) 契約書作成の要否

要。

- (9) 当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を当該工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無  
無。
- (10) 関連情報を入手するための照会窓口  
上記 4 (1)に同じ。
- (11) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加  
上記 2 (2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も、上記 4 (3)により申請書及び技術資料等を提出することができるが、競争に参加するためには開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (12) 本工事は、資料の提出、入札を電子入札システムで行うものであり、対応についての詳細は、入札説明書による。
- (13) その他、詳細については入札説明書による。